

# 行政・市民と協力した戦争遺構の調査・研究



CATEGORY

教育・学習支援

個人研究

研究者紹介



教養学環

教授 神子島健

主な学会発表  
論文・著書・社会活動

【著書】

『身近な戦争遺跡“多摩火工廠”  
～多摩火工廠から米軍施設へ80年の変遷を考える～』(2021年、多摩市  
／多摩市平和展市民会議)

【講演】

『教えて!“多摩火工廠とその後”  
～動員された少女たちについて～』  
(橋場万里子との共同講演 多摩市  
平和展、2022年度)

『教えて!“多摩火工廠とその後”  
～火工廠と学徒動労動員と戦争遺跡  
～』(多摩市平和展、2023年)

KEYWORDS 戦争遺構、歴史学習、官民学協働

稲城市と多摩市の間にもたがる米軍多摩サービス補助施設には、かつて日本陸軍の火薬工場、東京陸軍第二造兵廠多摩製造所があった。そこに残る当時の戦争遺構を行政、市民との協働で調査し、調査の成果物をDVDや冊子の形でまとめた。

## 01 研究テーマの特徴、アピールポイント



行政および市民との協働により、地域の戦争遺構に関する歴史をリサーチし、学習会を開催。その成果物として、動画のDVD作成と、冊子の発行などを行った。地元の行政及び市民と連携することで、長期的な調査・学習が可能となる。積み重ねた学習の成果をふまえ、動画を作成したり市民向けの冊子を作成するプロセスにおいて、市民の多様なリソースを利用することで、多くの方を巻き込むことができる。それによって、地域における学びを促進することができる。

### 想定される活用例、相談可能な分野

- 市民、行政、研究者の協働による学習集団の組織化
- 多摩地域の戦争遺構・戦争遺跡についての歴史学習
- 関連遺構等を通じた体験的学習